JICA 開発大学院連携プログラム（各大学におけるプログラム）概要

大学名	長崎大学
研究科名	医歯薬学総合研究科修士課程災害・被ばく医療科学共同専攻
研究科の特色	被ばく医療学・放射線リスク学で実績を持つ長崎大学と、東日本大震災を経験し災害医療分野での実績と貴重な経験・教育フィールドを有する福島県立医科大学で、平成それぞれの大学の特長を活かした「災害・被ばく医療科学共同専攻」を開設し、本分野における人材を育成する。
プログラム概要	日本における被ばく医療科学の発展について理解することで、放射線生命科学、放射線防護学、被ばく影響学のみならずメンタルヘルス、放射線リスク評価、リスクコミュニケーションについての基礎を理解し、母国における被ばく医療科学の発展に資する人材を育成する。
「日本の開発経験に関する講義」の概要	「被ばく影響学Ⅱ」（新設） 講義概要：放射線被ばくによる急性放射線障害、晩発性放射線障害（後障害）といった影響について、日本で培われた知見に基づいて理解する。 「放射線防護学」（新設） 講義概要：放射線防護システムの科学のおよび倫理的基盤と、予測可能および予測不可能な被ばく状況に対する基本原則を日本で培われた知見に基づいて学ぶ。 「緊急被ばく医療概論Ⅱ」（新設） 講義概要：「放射線防護」「汚染拡大防止」「放射線影響」の概念を中心に、日本で培われた経験に基づいた概説を行う。 「救急医学特論Ⅱ」（新設） 講義概要：日本における救急医療について詳説・実習する。 「長崎大川内村実習」（既設） 講義概要：長崎大学・川内村復興推進拠点において、環境放射線測定や住民とのリスクコミュニケーションの実際などについて、学生が実習を行う。
関連 URL	http://www.fmu.nagasaki-u.ac.jp/